

1. 取組内容①【子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】について

① ー1 取り組みを実施する必要性

本校では、平成 30 年度の全国学力・学習状況調査では、国語 AB・数学 AB とともに、全国平均を 2 ポイント以上下回っている。

家庭での学習習慣が定着しておらず、また、友達と話し合う活動や課題に対して主体的に取り組んだという意識の低い生徒が多い。

特に国語 B では平均無回答率が 7.0%となっており、全国平均の 3.0%を大きく上回っている。

上記の課題を解決するために、教育振興基本計画における【施策番号⑤、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】の一環として「一年生全生徒に漢字能力検定を受検させる」ことを実施した。

① ー2 取り組みを実施することにより期待できる効果

漢字能力検定の受検に向けて生徒の学習意欲を向上させるとともに、漢字を覚えることにより読む力の向上にもつながり、基礎学力の定着につながると期待できる。また、達成感・成就感を味わうことにより、漢字のみならず、他の教科においても学習意欲の向上が期待できる。

① ー3 具体的な実施内容

11 月に 1 年生全員が個々の能力に応じた級の漢字能力検定を受検。それに向けて事前学習に取り組む。

① ー4 取り組みに対する達成状況

・取組に対する達成状況：A

・評価理由：取り組み内容①においては目標をもって学習に取り組むことができ、また結果を得ることができるという成果を上げることができた。

以上の成果から A 評価とした。